

# 新大田市立病院建設事業に係る取り組み状況について

## 1、事業費高騰に係る削減の取り組み

- 平成26年4月以降、設計事務所からの削減提案を基にして、院内に設置した新病院建設調整委員会を開催する他、市との調整会議を重ね、基本設計の見直し作業を進めた。
- 削減にあたっては、病院本体の機能を確保しつつ、外構や基礎工事等での削減を基本的な考え方として検討を進めた。
- 最近の病院建設費の状況をあらためて調査し、建設コストを比較検討するとともに、更なる削減案を取りまとめることとして作業を進め、現時点での削減額を整理した。

現段階での削減額      △16億円（基本設計時139億円 ⇒ 123億円）  
うち本体工事費      △10億円（基本設計時 90億円 ⇒ 80億円）

※事業費は現時点での状況に基づく概算額であり、確定したものではない。

（削減検討項目）

造成工事、基礎工事、庇等の外構工事、バルコニー・タイル等の外壁工事、設備工事、解体工事、駐車場、エネルギー棟・付属棟、延べ床面積、宿舎 他

## 2、財源確保に向けた取り組み

- 病院建設に係る公営企業債や過疎債の確保、病院建設費への助成、資材費高騰などによる病院建設への影響緩和策等について、7月11日に県、7月23、24日に国に対して重点要望を実施した。
- 既存の国・県補助事業の補助内容を調査し、有利な財源確保を検討している。

## 3、今後の対応

- 資材費や人件費高騰の動向に注視し、実施設計にあたって引き続き経費の削減に向けた取り組みを行う。
- 削減に向けた取り組みにあたっては、市建築技師による設計業者への指導のもと内容を精査し、院内に設置した新病院建設調整委員会において検討を進める。
- 事業実施にあたっては、補助金や起債などの財源確保に努め、市財政への影響を極力抑えるとともに、財源確保に向け引き続き関係機関への働きかけや情報収集を行う。
- 院内に設置した経営健全化検討委員会等で引き続き経営状況の検討を行い、市立病院の経営健全化を推進する。